

2018年3月期 決算説明会

2018年5月18日



JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center
日本動物高度医療センター

株式会社日本動物高度医療センター

東証マザーズ：6039

1. 2018年3月期 決算ハイライト

2018年3月期 決算のポイント

- ◆ 2018年3月期売上高は前期比**3.1%**の増収
- ◆ 利益面ではいくつかの一時的要因によるコスト増が加わり、減益

営業利益：△4.9% 経常利益：△5.9%

- ◆ 診療件数・手術件数は堅調に推移
活発な学会報告、セミナー開催等による紹介症例数の増加が寄与
- ◆ 2018年1月の東京病院 開院

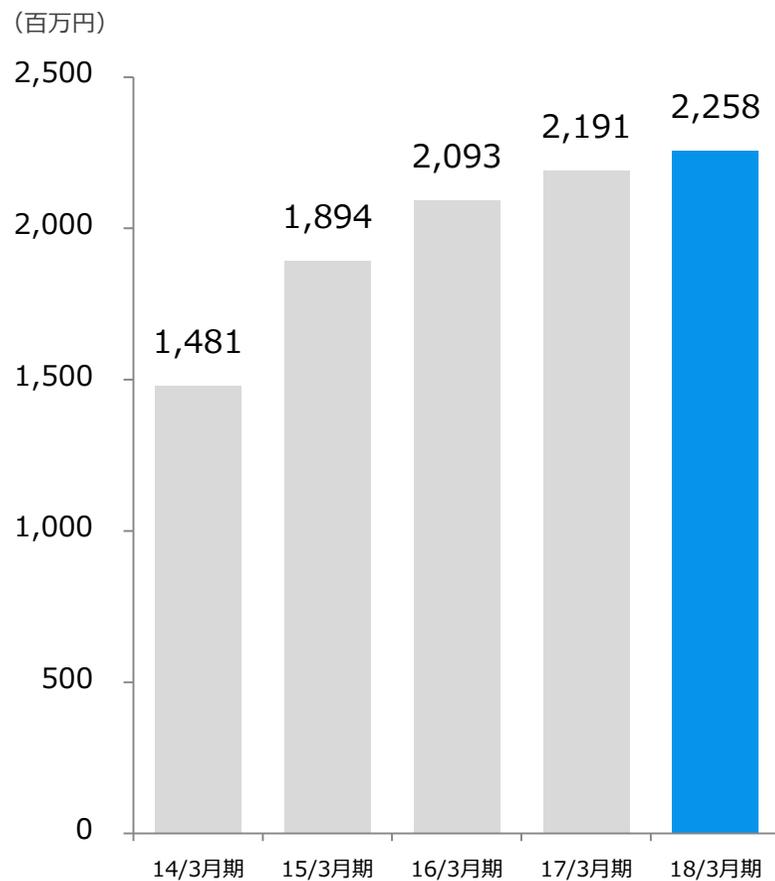
2018年3月期 決算ハイライト

(百万円)

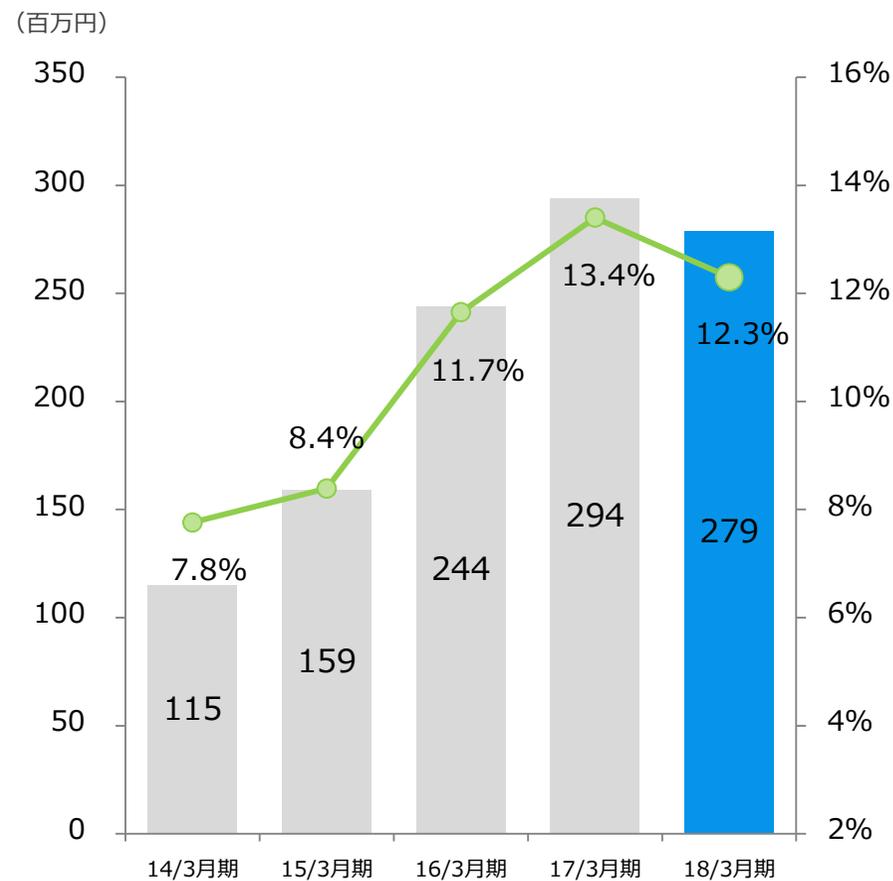
	2017年3月期		2018年3月期					
	実績	構成比(%)	計画	構成比(%)	実績	構成比(%)	前期比 増減(%)	計画比(%)
売上高	2,191	100.0	2,360	100.0	2,258	100.0	+3.1	95.7
営業利益	294	13.4	325	13.7	279	12.3	△4.9	86.1
経常利益	279	12.7	310	13.1	263	11.6	△5.9	85.1
親会社株式に 帰属する 当期純利益	229	10.5	260	11.0	208	9.2	△9.3	77.1
1株当たり 当期純利益(円)	98.09	-	111.08	-	87.63	-	-	-

業績推移 ①

売上高

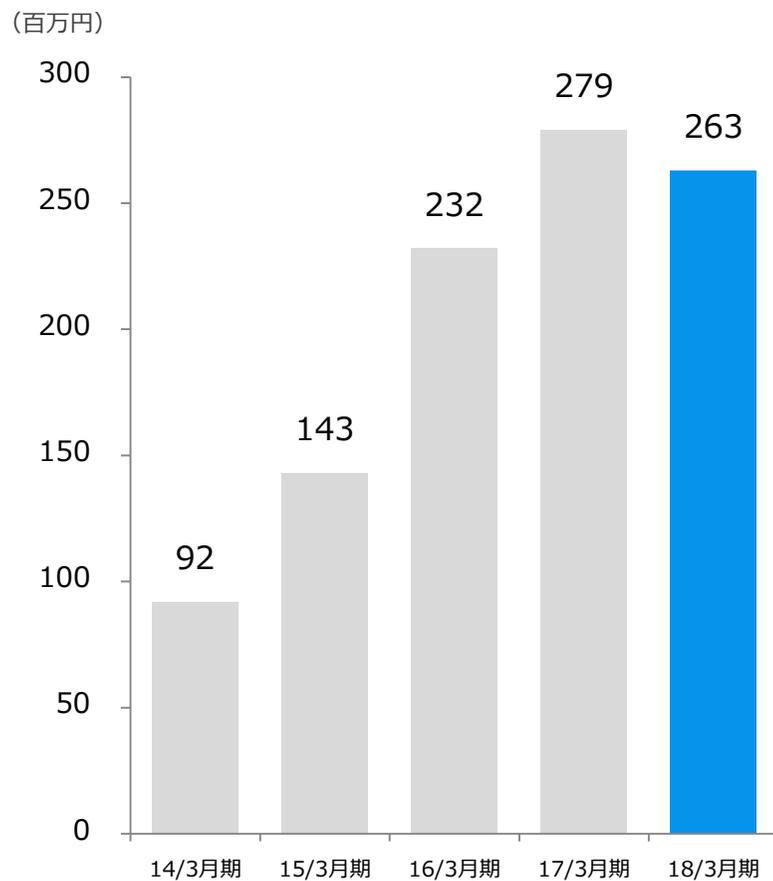


営業利益・営業利益率

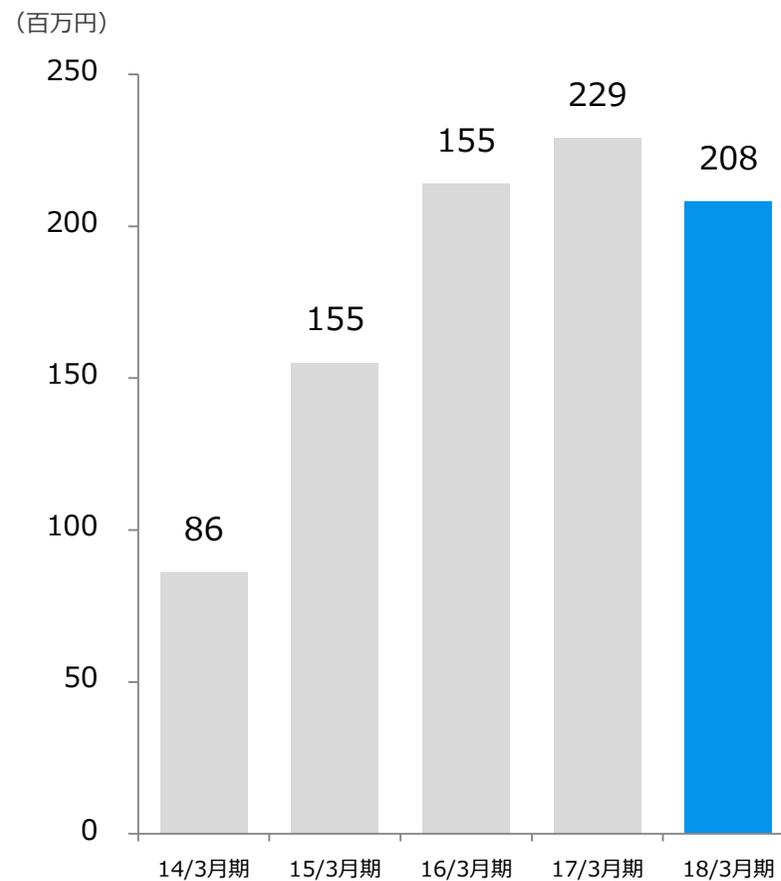


業績推移 ②

経常利益



当期純利益



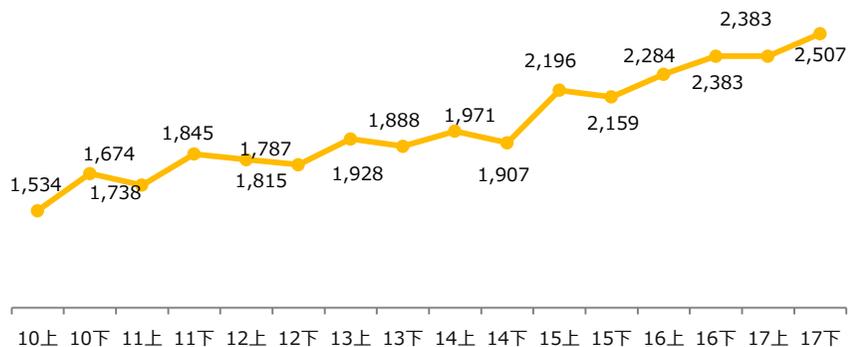
2018年3月期 決算サマリー

(百万円)

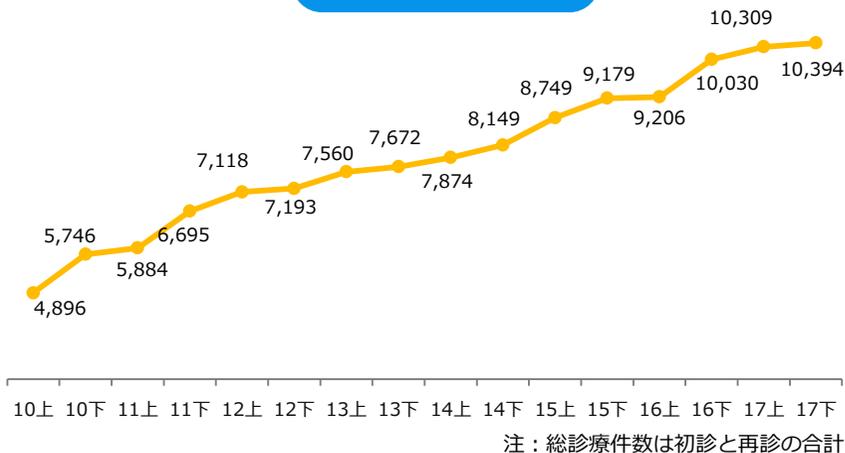
		2017年 3月期	2018年 3月期	増減	増減率 (%)	備考
売上高	JARMeC	1,727	1,792	64	3.7	初診数4,890件(+4.8%)、総診療数20,703件(+7.6%)、手術数1,593件(+1.9%)
	Camic	463	466	2	0.6	検査件数5,157件(△0.5%)
	合計	2,191	2,258	67	3.0	
売上原価+販売管理費		1,897	1,978	81	4.3	一時的要因によるコスト増
	人件費	934	973	39	4.1	東京病院開設準備で人員数増加(期中平均+11人、期末+16人)
	消耗品費	31	50	18	57.7	東京病院の備品等(20百万円)
	減価償却費	202	176	△25	△12.6	一部の高額医療機器の償却期間終了により減少
	租税公課	41	59	18	44.4	不動産担保設定登録免許税(11百万円)
営業利益		294	279	△14	△4.8	
経常利益		279	263	△16	△5.8	新規資金調達費用15百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益		229	208	△21	△9.2	退職給付引当金繰入9百万円

各件数推移

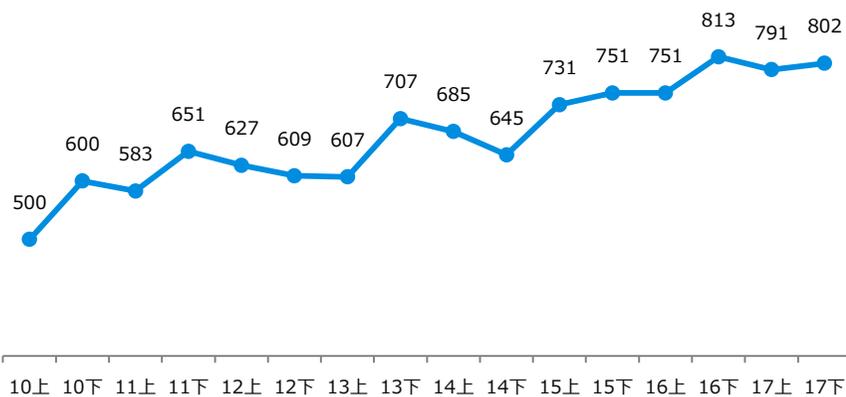
初診件数の推移



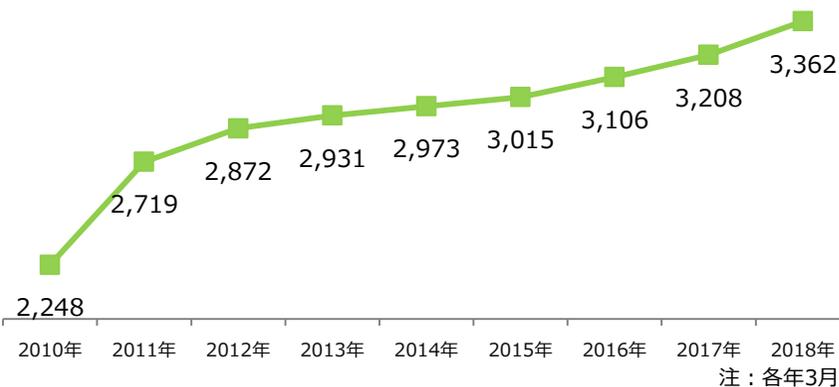
総診療件数の推移



手術件数の推移



連携病院数の推移



連結貸借対照表

	2017年3月期末		2018年3月期末				主な増加/減少要因
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
流動資産	1,101	21.5	1,220	20.6	118	10.8	
固定資産	4,023	78.5	4,712	79.4	688	17.1	東京病院建設工事費用及び医療機器購入等による有形固定資産の増加 譲渡制限付株式発行等による投資その他の資産の増加
資産合計	5,125	100.0	5,932	100.0	806	15.7	
流動負債	1,727	44.3	735	12.4	△991	△57.4	シンジケートローン借換え及び東京病院開設のための設備投資に関連して、短期借入金と1年内返済予定長期借入金の減少、長期借入金の増加
固定負債	2,169	55.7	3,668	61.8	1,499	69.1	
負債合計	3,897	76.0	4,404	74.2	507	13.0	
純資産合計	1,228	24.0	1,527	25.8	299	24.4	新株予約権行使と譲渡制限付株式発行による増資及び親会社株主に帰属する当期純利益
負債・純資産合計	5,125	100.0	5,932	100.0	806	15.7	

キャッシュ・フローの状況

(百万円)

	2018年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 797
財務活動によるキャッシュ・フロー	485
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額	32
現金及び現金同等物の期首残高	758
現金及び現金同等物の期末残高	790

■ 主な営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 税金等調整前当期純利益 253 百万円
- ・ 減価償却費 176 百万円

■ 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 有形固定資産の取得による支出 △ 787 百万円

■ 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・ 短期借入れによる収入 3,581 百万円
- ・ 株式の発行による収入 33 百万円
- ・ 短期借入金の返済による支出 △ 650 百万円
- ・ 長期借入金の返済による支出 △ 2,479 百万円

2019年3月期 業績予想

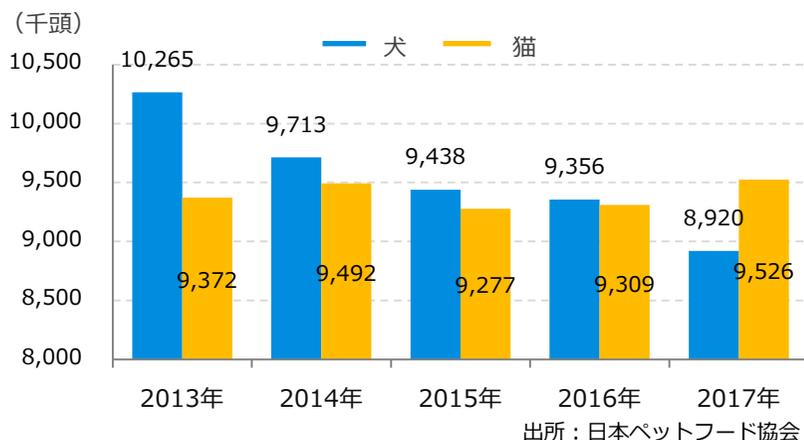
(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	
	実績	予想	前期比 (%)
売上高	2,258	2,560	+13.3
営業利益	279	350	+25.0
経常利益	263	350	+32.8
親会社株式に帰属する 当期純利益	208	285	+37.0
1株当たり 当期純利益	87.63円	118.28円	—

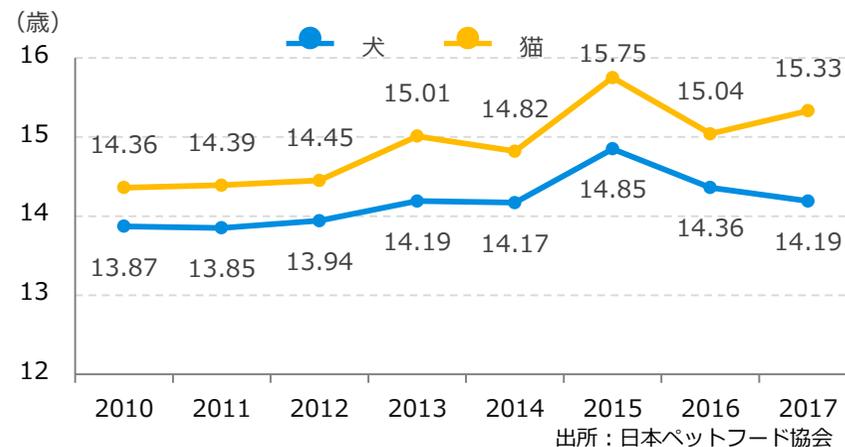
2.市場動向と成長戦略

動物医療業界を取り巻く環境

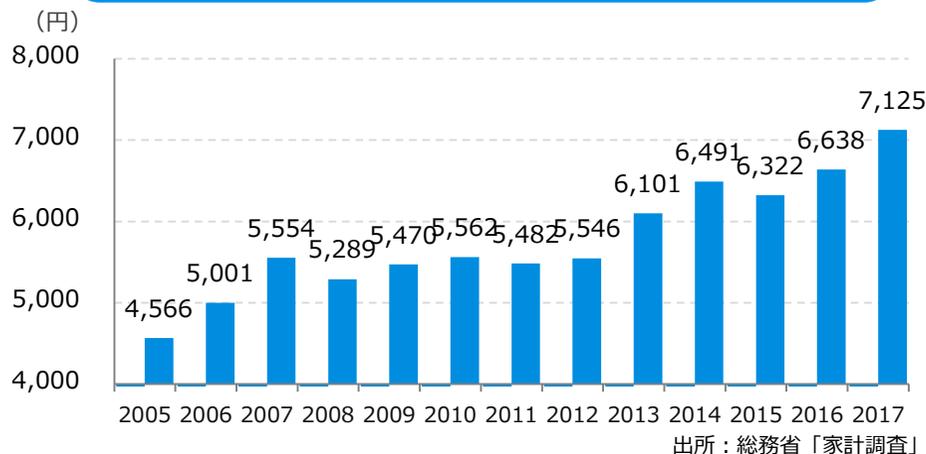
犬・猫の飼育頭数



犬・猫の平均寿命



1世帯当たりの動物病院代の年間支出額 (2人以上の世帯)



- 犬の飼育頭数は減少傾向、猫の飼育頭数はやや増加
- 平均寿命は横ばい
- 医療にかかる費用は2005年比で約1.5倍

ペット保険の成長性

ペット保険加入率

国内における犬猫飼育頭数（2017年）

1,844.6万頭

出所：日本ペットフード協会

ペット保険契約頭数（2017年）

142万頭

出所：(株) 富士経済

国内におけるペット保険加入率（2017年）

7.7%

ペット保険加入件数予想

	2014年	2018年予測	2014年比
保有契約件数 (万件)	94.0	164.4	174.8%

出所：(株) 富士経済

ペット保険加入件数は2018年予測で164.4万件と2014年比で174.8%と大幅増。
加入率は上昇傾向を想定。

1. 拠点の拡大

- ◆ 全国主要都市に施設の展開を積極的に推進
 - 2018年1月 東京病院を開業
 - ➡ 首都圏東部・北部からの紹介受入強化へ
 - 大阪病院（仮称）は、2020年春以降に開業予定
 - ➡ 東名阪の拠点をもちに、連携病院の拡大加速へ

2. 対外活動の強化

- ◆ 学会発表、セミナー開催などの学術活動を推進継続
- ◆ 地域の動物病院との連携を積極的に推進
 - ➡ 初診数増加へ（2018年3月期比22%増を目標）

3. 人材確保

- ◆ 大学・専門学校・各種団体との関係性強化、人脈形成に尽力
- ◆ 採用活動を積極的に実施

4. 新規事業の拡大継続

- ◆ 動物医療において診療以外の領域で患者動物・飼い主・一次診療施設をサポートする新規事業挑戦を継続
- ◆ M&Aも活用した事業領域の拡大
 - ➡ 動物医療業界の総合的企業へ

3.APPENDIX

会社概要



会社名	株式会社日本動物高度医療センター Japan Animal Referral Medical Center: JARMeC
主要な事業内容	犬・猫向けの高度医療を行う二次診療専門動物病院
所在地	川崎本院：〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地2-5-8 名古屋病院：〒468-0003 愛知県名古屋市天白区鴻の巣1-602 東京病院：〒121-0075 東京都足立区一ツ家3-1-7
代表取締役社長	平尾 秀博
設立年月日	2005年9月26日 (川崎本院開業 2007年6月1日) (名古屋分院開業 2011年12月1日) (東京病院開業 2018年1月20日)
資本金	378,825,660円
従業員数	184名 (非常勤17名を含む) (2018年4月1日現在) ※グループ全体
連携病院数	3,362病院 (2018年3月末日現在)

JARMeCは、動物医療界において、

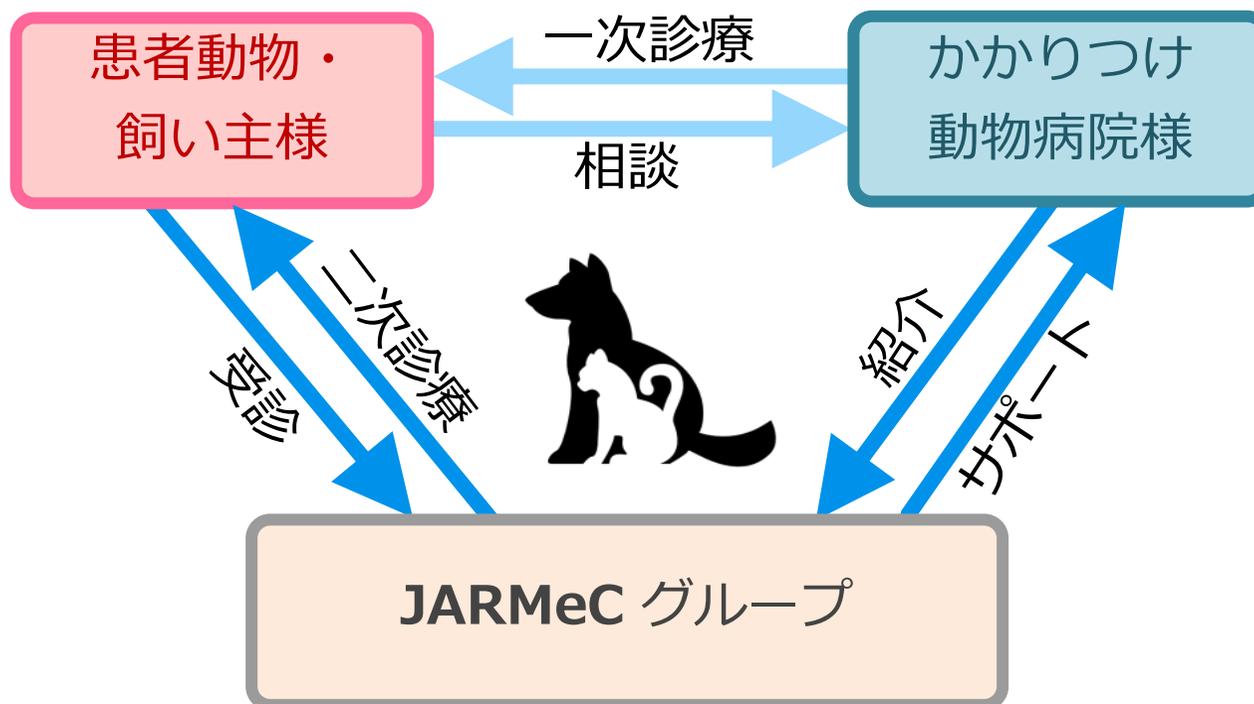
「臨床や教育現場で活躍する人材教育」の環境を整え、

「動物医療技術の向上を担う臨床研究」にチャレンジし、

教育、臨床研究の実践の場所としての
「高度医療（二次診療）」を地域の連携病院と協力して提供する

以上により広く社会に貢献することを理念としています。

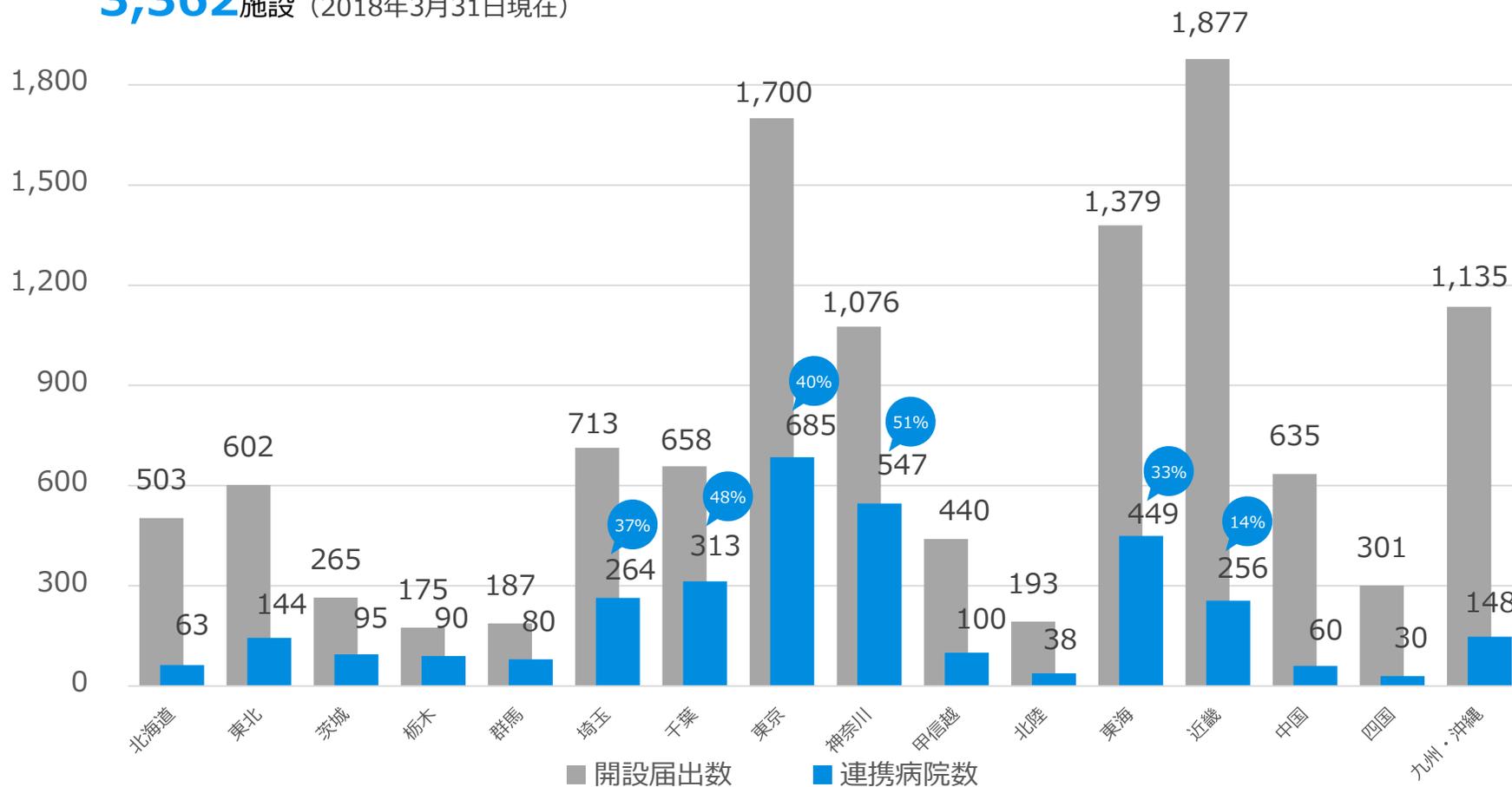
JARMeCグループ事業概念



JARMeCはかかりつけ動物病院様と連携して充実した動物医療体制を実現。
画像診断サービスを提供する株式会社キャミック
と共にJARMeCグループとして動物医療の発展に繋がる事業を展開。

地域別連携病院数

3,362施設 (2018年3月31日現在)



出所：地域別の開設届出数は農林水産省より、2017年12月末時点の小動物診療施設の軒数。
連携病院数は2018年3月末時点の軒数。

ご留意事項

- 本資料は、株式会社日本動物高度医療センターの事業及び業界動向についての株式会社日本動物高度医療センターによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた 将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明はさまざまナリスクや不確実性がつきまとっています。
- 既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 株式会社日本動物高度医療センターは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2018年5月18日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社日本動物高度医療センターにより2018年5月18日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。